

大同特殊鋼株式会社（証券コード 5471 [鉄鋼]）

大同特殊鋼
Beyond the Special

すごい未来 特殊鋼と行こう!

半導体、CASE、クリーンエネルギー、航空・宇宙、先進医療
素材の技術革新がイノベーションを誘発する



CMはコチラ



大同特殊鋼の今、2024年

“100年企業”、創業者が掲げた「互戒十則」を実践し、
お客様とともに成長してきた108年の歴史が形作った企業の姿

〈互戒十則 1916年〉

- 一、我々の亨（う）くる幸福は、十万**需要家**の賜（たまもの）なり
- 二、我々は寸時（すんじ）も、**需要家**の恩恵を忘却すべからず
- 三、**需要家**の主張は常に正当なり。懇ろ（ねんごろ）に応接すべし
- 四、故障を絶対に予防し、**需要家**に満足を与うべし
- 五、時間と労力は貴重なり。最も有効に使用すべし
- 六、其日（そのひ）になすべき仕事は、明日に延ばすべからず
- 七、細事も忽せ（ゆるがせ）にするなかれ。一物も損なふなかれ
- 八、議論と形式は末なり。実益を挙ぐるを本とせよ
- 九、不平と怠慢は健康を害す。職務を愉快地に勉めよ
- 十、会社の盛衰は吾々の双肩にあり。協力奮闘せよ

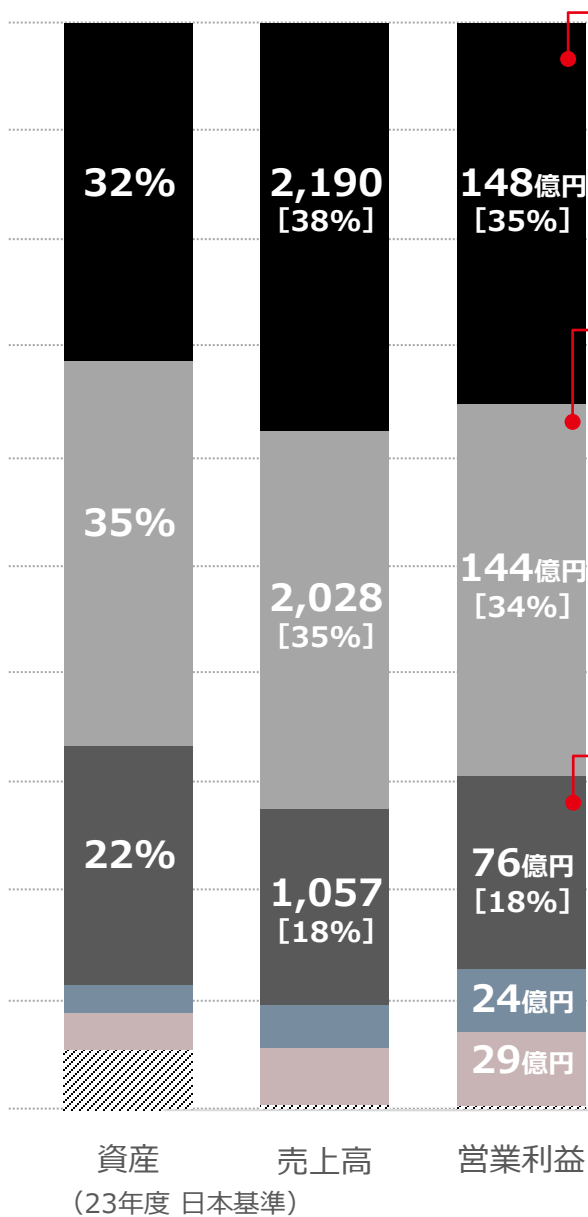


売上高	5,813億円
営業利益	421億円
純利益	498億円
営業利益率	7.24%
従業員数	11,941名

2024年3月期 決算短信(日本基準) (連結)

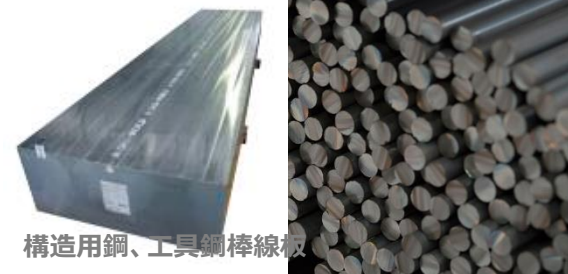
流動資産	4,254億円	発行済株式数(普通株式)	217,243,845株
NET有利子負債	1,127億円	1株当たり純資産	2,009.91円
設備投資	319億円	1株当たり当期利益	233.47円
研究開発費	65億円	1株当たり配当	46円
ROE	12.5%		

5つの事業セグメント



特殊鋼鋼材

自動車・産業機械向けを中心とした**構造用鋼**・**工具鋼**等を生産・販売



機能材料・磁性材料

自動車・産業機械、電気・電子部品製造用の**ステンレス鋼**・**高合金製品**および**磁材製品**、**チタン**・粉末材料等を生産・販売



自動車部品・産業機械部品

自動車および産業機械向けの**型鍛造**・**素形材**製品等を生産・販売



エンジニアリング

鉄鋼・工業炉・環境関連設備の生産およびメンテナンス事業



流通・サービス

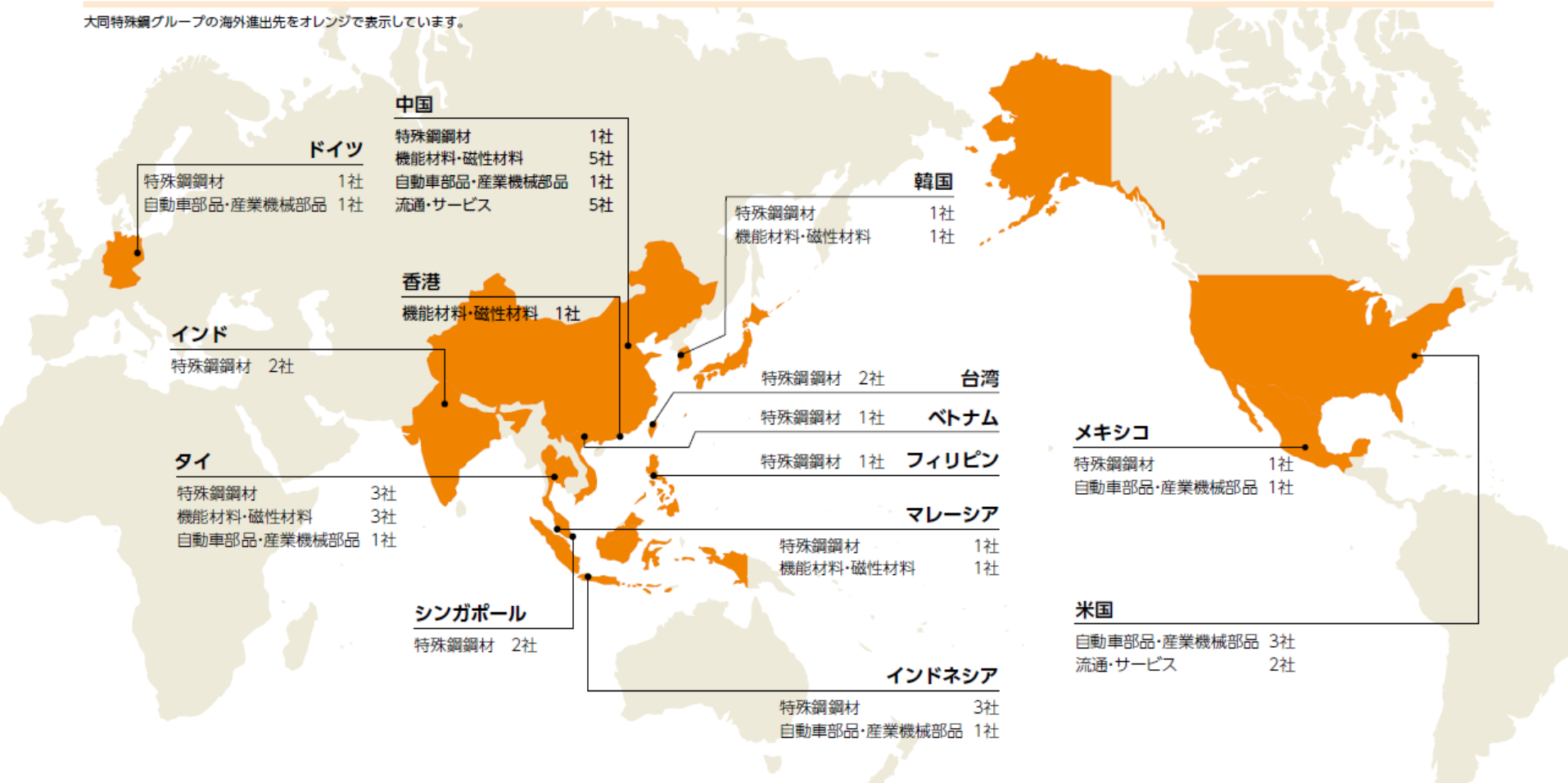
不動産事業および福利厚生等のサービス事業

特殊鋼の製造拠点 国内粗鋼生産拠点



大同特殊鋼グループの概要

大同特殊鋼グループの海外進出先をオレンジ色で表示しています。



大同特殊鋼のコアコンピタンス 『特殊を超える価値』を創造する



開発力

鉄（Fe）の可能性を追求し、高機能で安定した品質の特殊鋼鋼材をはじめ、合金、金属間化合物など金属系素材の価値を極める研究開発を推進

研究開発人材
(2024年3月末時点)

約**300名**

研究開発費
(2023年度)

66億円



現場力／製造技術

多種多様な機能性材料を**独自技術・設備を駆使して造り込む**－製造技術は『大同モノづくり改革活動』によって自律的に進化し続ける

取り扱い製品種類 **約4,000種類**
(材質×形状の種類、2023年度)

自主管理活動改善件数
(改善提案件数、2023年度)

年間**14,400件**



共創力

自動車、重電、航空等産業の**お客様と、サステナブル社会の実現に向けた新しい素材を共創**

- ・プロセスよりも顧客との対話
- ・顧客のベネフィットを創造する開発
- ・計画に従うことよりも変化への対応を重視

お客様との共同開発
(2024年3月末時点)

163件

外部機関との共同研究
(2024年3月末時点)

46件

産業発展の基盤となっている大同特殊鋼の製品例

自動車



国内シェア約**30%**
xEV歯車用鋼



半導体製造装置



世界シェア約**40%**
半導体製造装置向けステンレス鋼棒線



先進医療機器



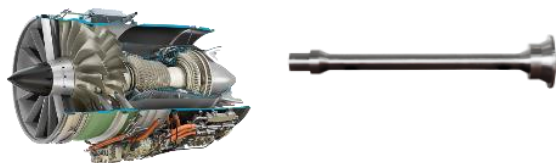
世界市場成長率約**6.3%**
医療機器市場2021年-2027年



航空機



世界シェア約**25%**
100席以上の旅客機用エンジンシャフト



船舶



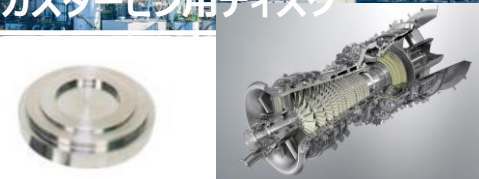
世界シェア約**80%**
中大型船用バルブ



エネルギー



世界シェア約**30%**
中大型ガスタービン用ディスク





大同特殊鋼の事業について

『**素材の可能性**を追求し、人と社会の未来を支え続けます』を企業理念とし、“**特殊鋼**”の価値を極め、顧客ベネフィットを創造し、サステイナブルな社会の実現に貢献することをめざした企業活動をおこなっています

- 1] **鉄鋼**や化学などの素材産業は国際競争力を有し、その製品は日常生活から自動車、エレクトロニクス、航空・宇宙、エネルギー、医療など、多岐にわたる分野で使用され、日本の社会と産業の発展を支えてきた
- 2] **鉄鋼産業**は、消費者向けの最終製品よりも主に**中間財**を製造しており、産業内の取引の割合が大きい産業の高度化にとまない、『強く、硬く、しなやかに』以上の様々な“機能”を有する幅広い“特殊鋼”製品を生み出し、産業界全体に新しい可能性をもたらしている
- 3] **鉄鋼産業**は、その製品の製造過程で多くのエネルギーを消費する環境対策（カーボンニュートラルの実現）や資源の有効活用（サーキュラーエコノミー実現への貢献）など企業の社会的責任（CSR）に目を向けるとともに、多くの社会課題を解決することで新たな事業機会を生み出す活動（CSV）も強く意識する

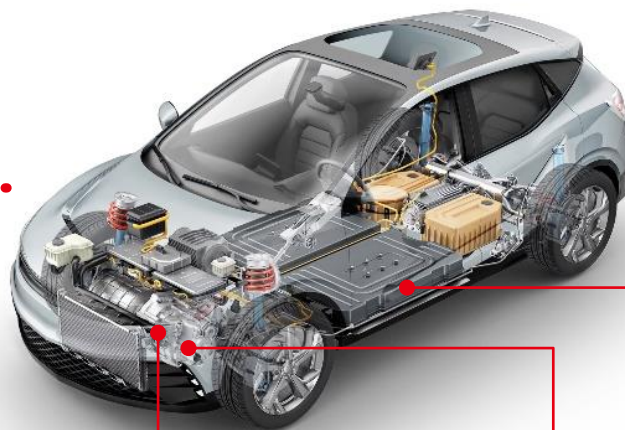
すべての産業の発展を支えてきた素材産業



鉄鋼業をはじめとする**素材産業**は、すべての産業の基盤となる業界です。わたしたちの生活を取り巻く工業製品のすべてが、**鉄**、銅、アルミニウムなどの**金属素材**や合成樹脂、合成繊維、ゴムなどの化学素材、セメントや紙などの**素材**からできています



電氣自動車 (xEV) で使用される特殊鋼の [例]



電動車 (xEV) の主要部品 (新しい技術)



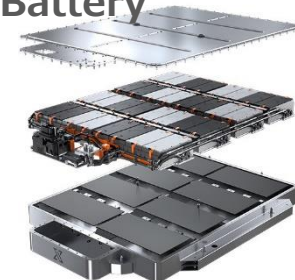
e-Axle



Motor



Battery



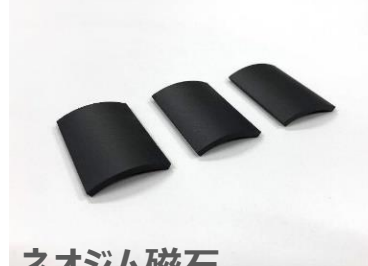
“特殊鋼”製品 (“鉄”の可能性を追求して生み出された素材製品)



特殊鋼歯車



ネオジム磁石



LiB負極材用素材



参考：鉄鋼製品があらゆる産業で利用される理由



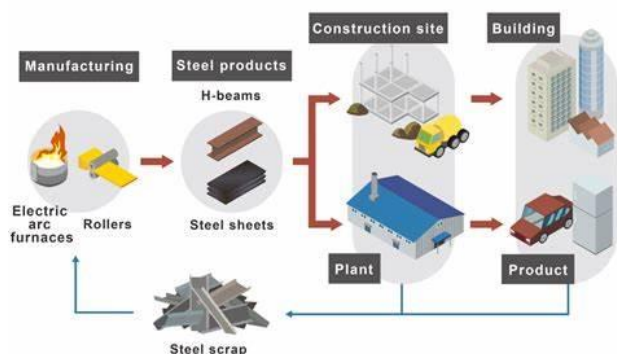
地球上に（宇宙空間にも）資源が豊富

<まめ知識>

天然の鉄Feの約92%は安定同位体 $[^{56}\text{Fe}]$ （中性子数30）である。 $[^{56}\text{Fe}]$ は原子核の結合エネルギーが最大（※）で質量欠損が多いため、巨大恒星内部での核融合過程の元素合成による最終元素となる。

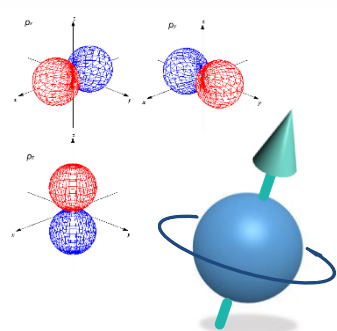
※実際には、核子当たりの結合エネルギーが最大となるのは $[^{62}\text{Ni}]$ と $[^{58}\text{Fe}]$ の2核種であるが、この2核種は軽い核種の核融合反応が $[^{56}\text{Fe}]$ に比べて起こりにくい。

日本における粗鋼生産量
8,683万トン/年！



製造・加工が容易で、リサイクルもし易い

リサイクルされる鉄スクラップの量
約2,500万トン/年！



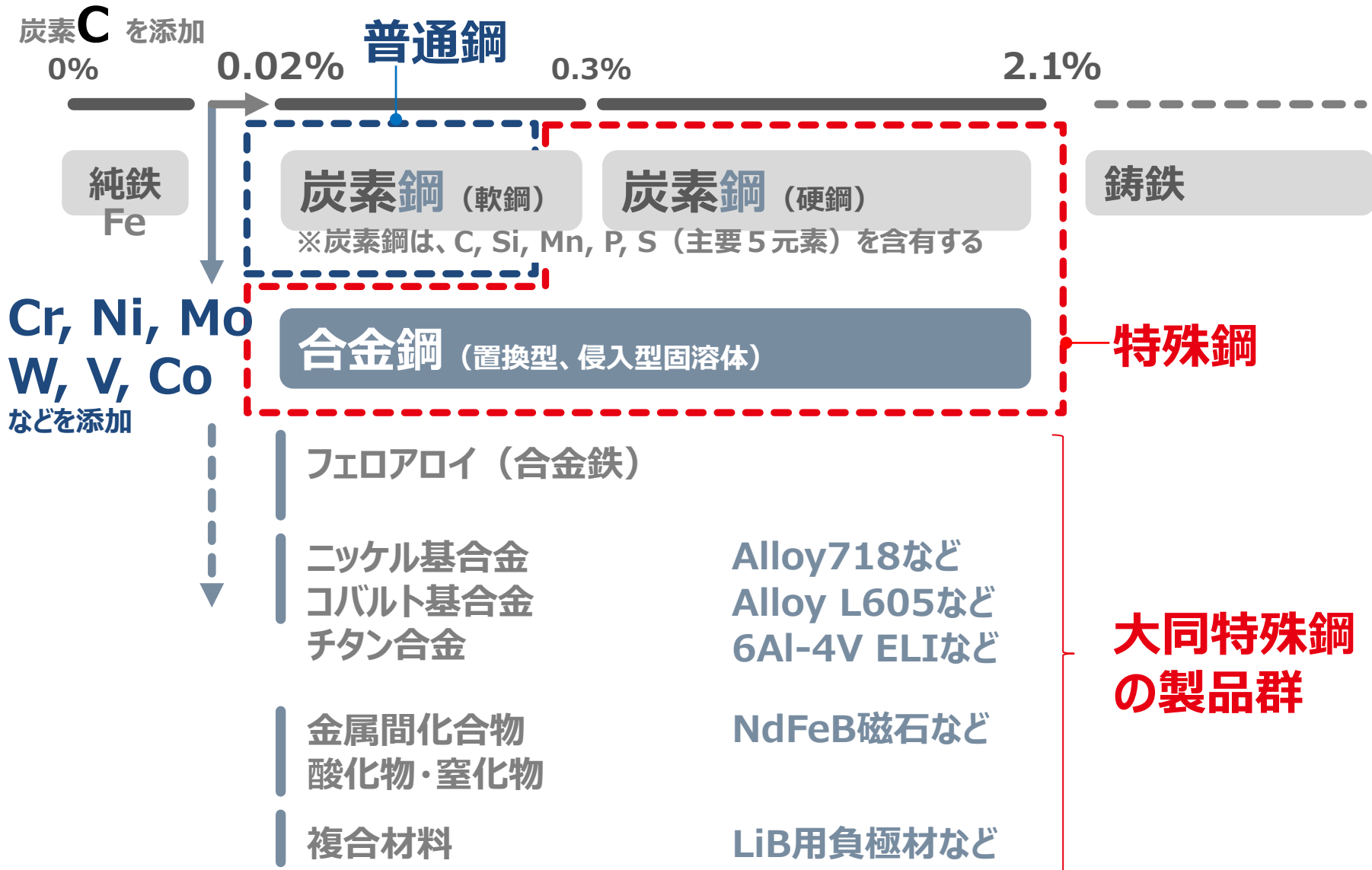
強さ、硬さ、しなやかさ以外の様々な“機能”を付与できる

<まめ知識>

鉄Feに炭素Cを0.8%添加するだけで、鉄鋼材料の引張強さは4.5倍以上、**900MPa以上**になる！鉄Feは遷移金属の中でも電子スピンの偏りが著しく、電子スピンによる磁気モーメントの総量も大きくなり**強磁性**という特性を示す。 ※常温で強磁性を示す金属は、鉄、コバルト、ニッケル、ガドリニウムの4種類しか存在しない！！

日本における特殊鋼の生産量
1,953万トン/年！
本当はもっと多い！！

参考：鉄鋼製品分類の例





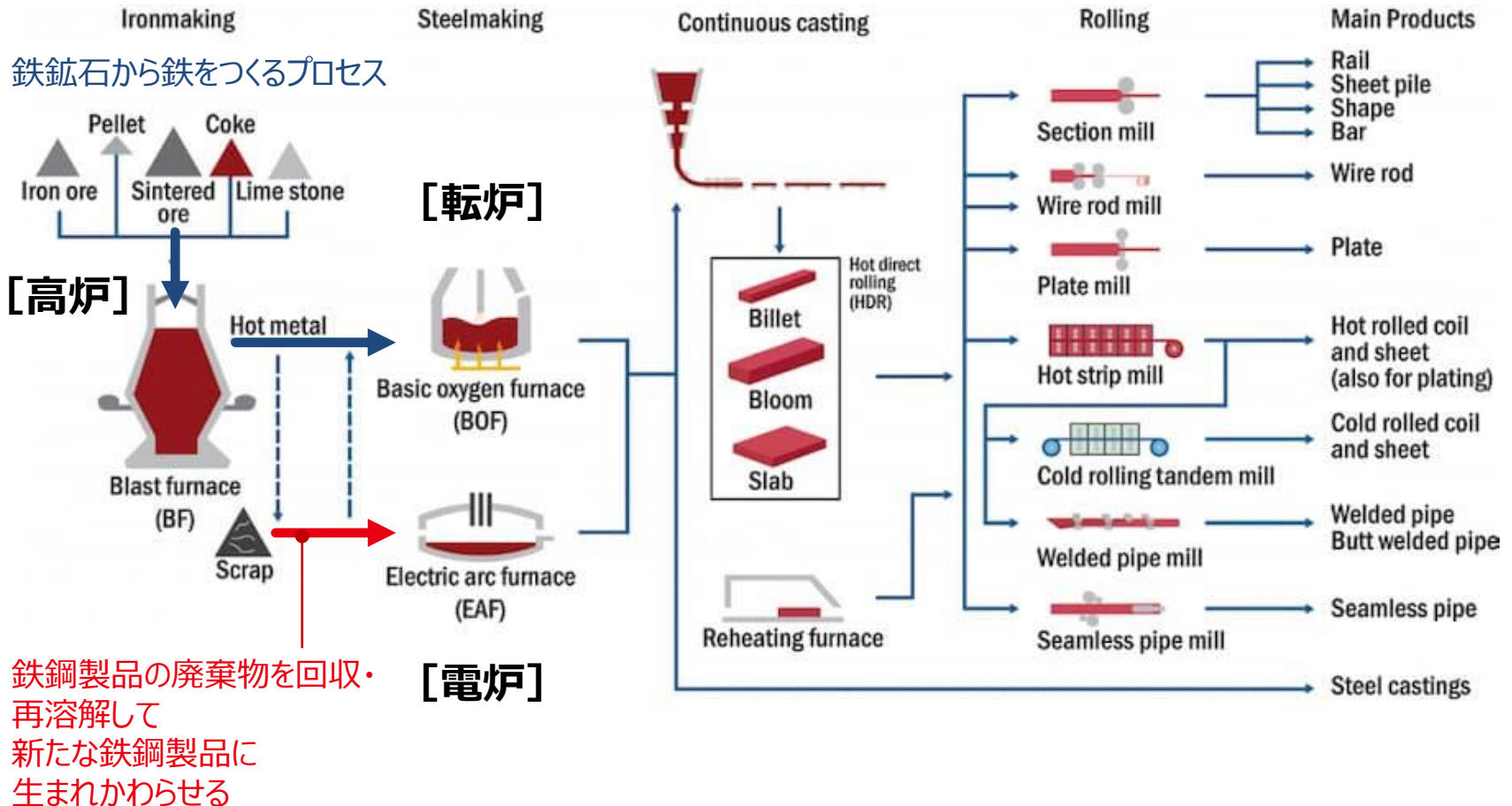
鉄鋼産業について

鉄鋼製品の生産プロセス

粗鋼生産（溶かす）

固める

鍛える・延ばす



電気炉 特殊鋼条鋼の製造プロセス



鉄鋼製品の廃棄物を回収



電炉でスクラップを溶解し、
成分を調整し
特殊な機能を付与する



溶けた鋼を固めて
特殊鋼の塊をつくる



鍛える・延ばす
[鍛造]



鍛える・延ばす
[圧延]



鍛える・延ばす
[線材圧延]



自由鍛造品



棒鋼



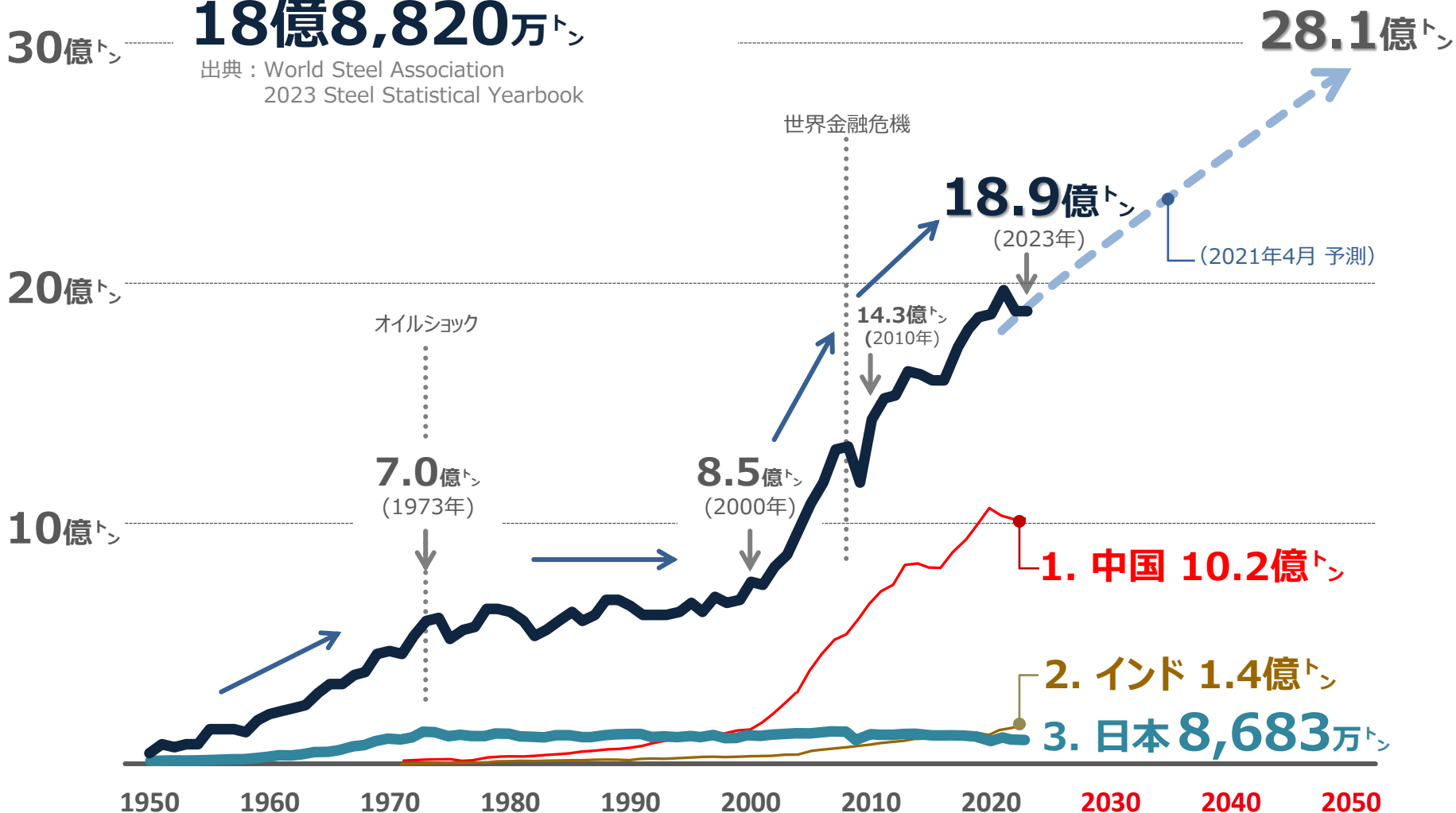
線材

世界鉄鋼（粗鋼）生産量の推移（予測）

2023年世界の粗鋼生産量

18億8,820万トン

出典：World Steel Association
2023 Steel Statistical Yearbook

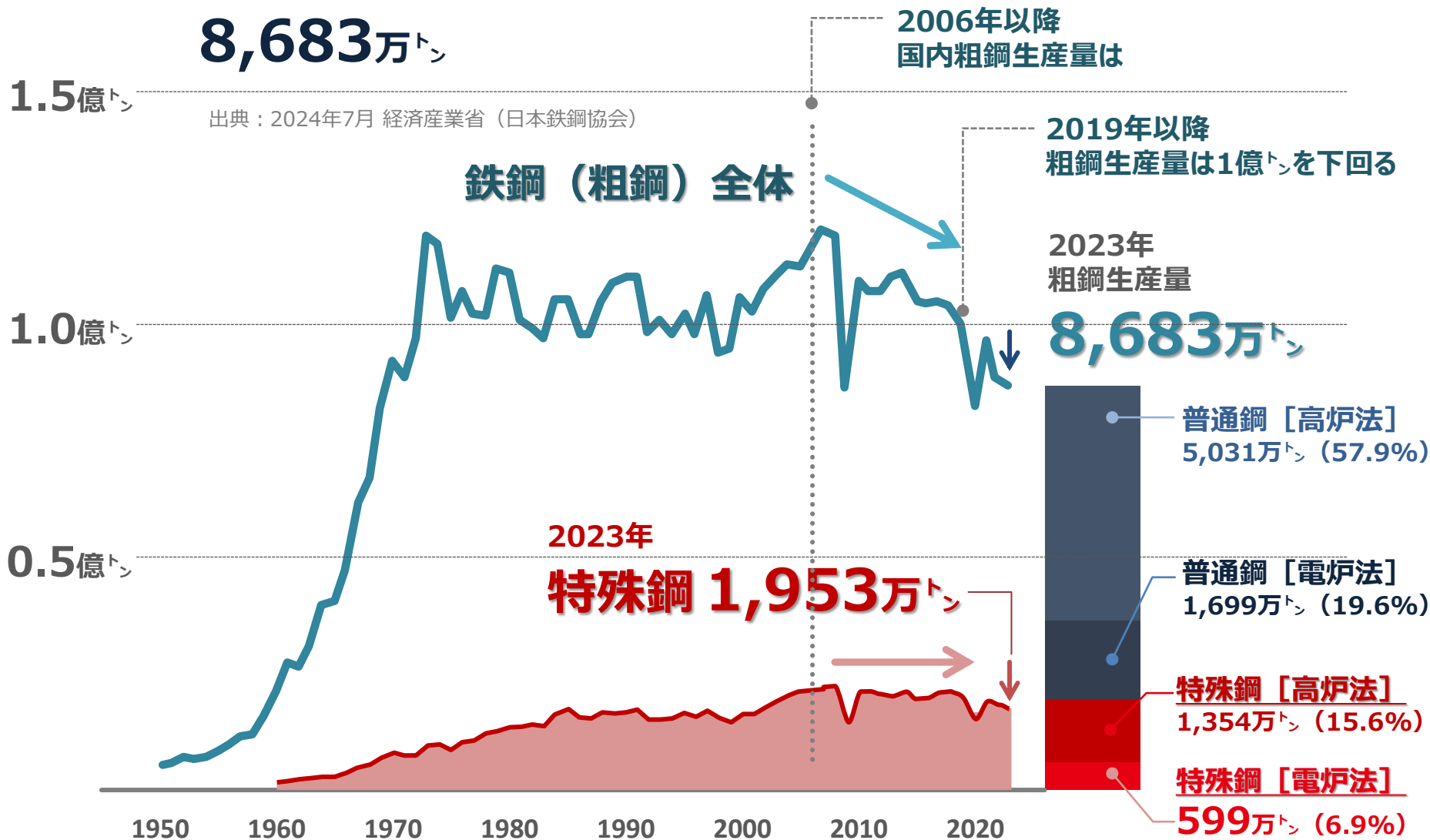


日本の鉄鋼（粗鋼）生産量の推移

2023年日本の粗鋼生産量

8,683万トン

出典：2024年7月 経済産業省（日本鉄鋼協会）

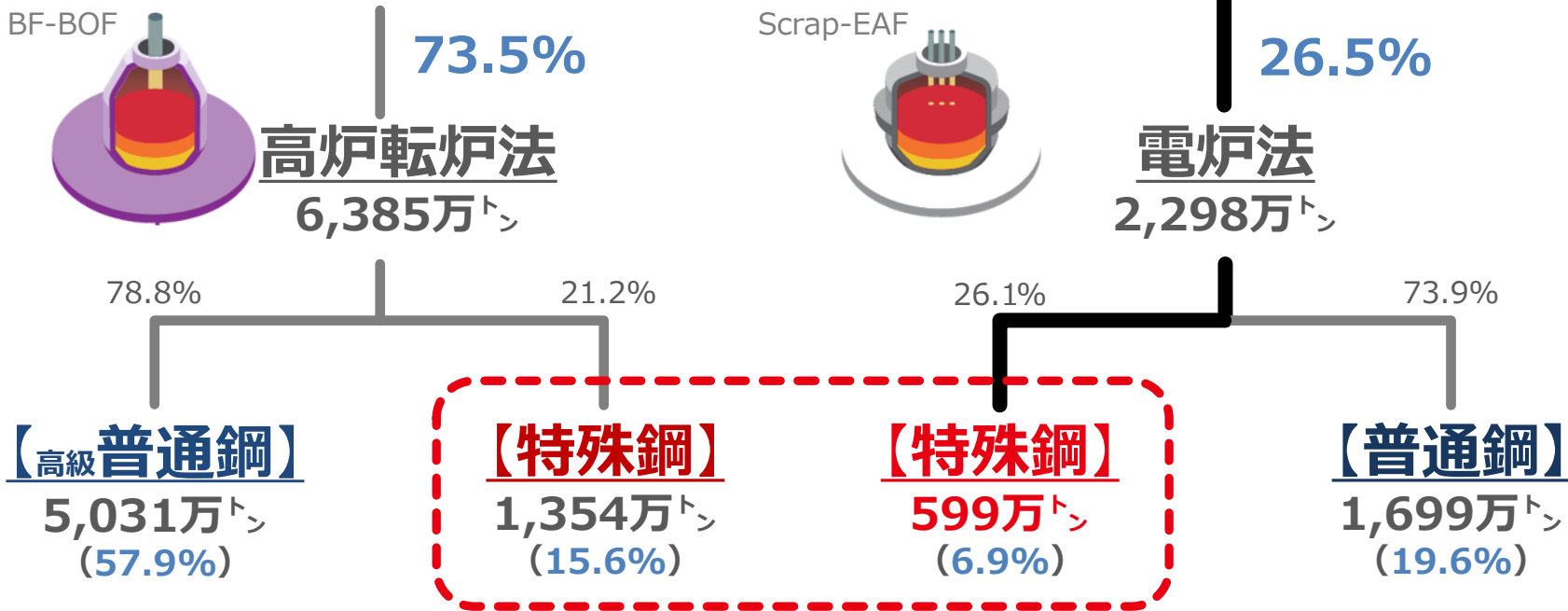


高炉法、電炉法別の粗鋼生産量

2023年日本の粗鋼生産量

出典：World Steel Association
2023 Steel Statistical Yearbook

8,683万トン



- 日本製鉄 株式会社 [4,366万トン]
- JFEスチール 株式会社 [2,509万トン]
- 株式会社 神戸製鋼所 [603万トン]

- ★ 大同特殊鋼株式会社
- 株式会社 プロテリアル
- 山陽特殊製鋼 株式会社
- 愛知製鋼 株式会社

- 東京製鉄 株式会社
- 共英製鋼 株式会社
- 合同製鐵 株式会社
- 株式会社 中山製鋼所

電気炉製鋼のカーボンニュートラル実現のための取り組み

高炉転炉法



CO₂

CO₂排出強度

粗鋼生産量 1 トン当たりの
CO₂排出量

2.33CO₂トン

電炉法

(スクラップ)



CO₂

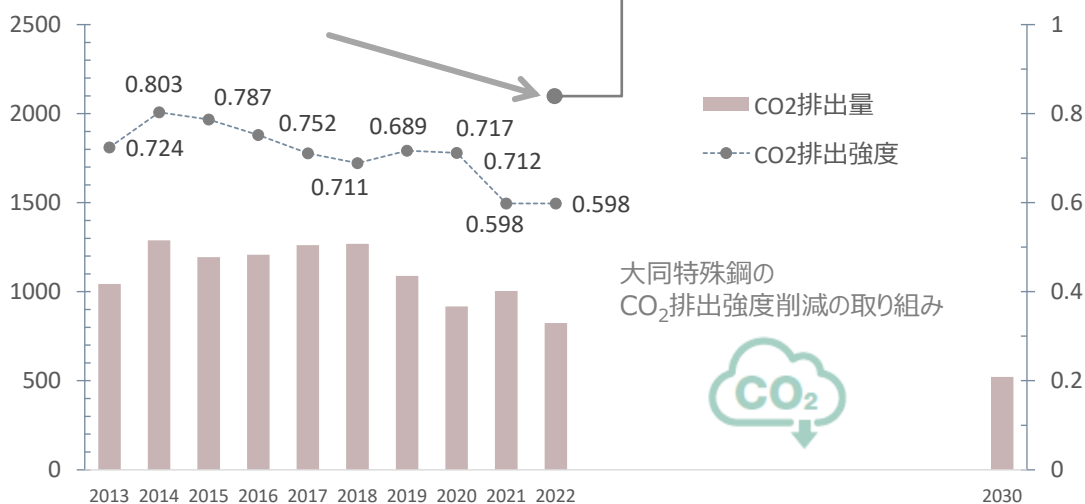
0.68CO₂トン

平均CO₂排出強度

1.89CO₂トン

粗鋼を1トン生産するために、
CO₂を1.89トン排出している

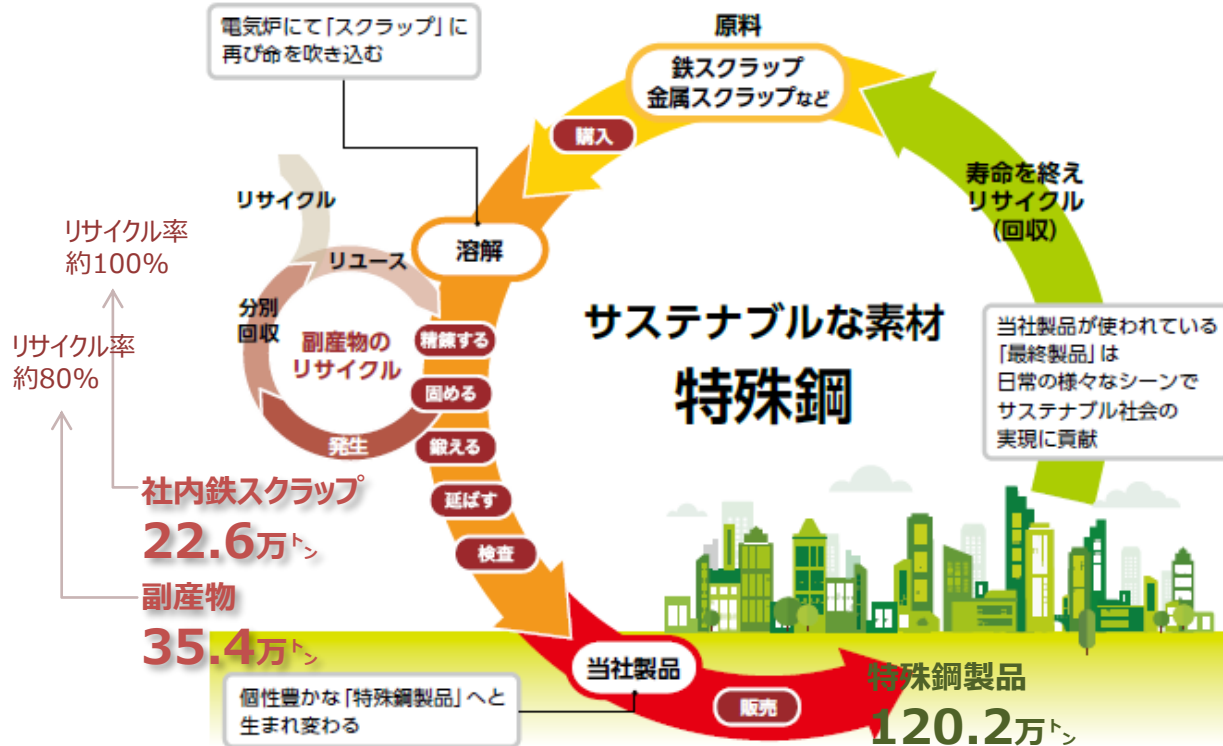
$$1.89 \text{CO}_2 \text{トン} = \left[\begin{array}{c} \text{BF-BOF} \\ 2.33 \\ \text{WSA2022年} \end{array} \times 73.5\% \right] + \left[\begin{array}{c} \text{Scrap-EAF} \\ 0.68 \\ \text{WSA2022年} \end{array} \times 26.5\% \right]$$



電気炉製鋼プロセスのサーキュラーエコノミー実現への貢献

鉄スクラップ[°] 147.3万ト_ン 合金類 7.0万ト_ン 副原料・資材 10.7万ト_ン 電力 14.6億kWh 燃料（原油換算） 18.4万kl 工業用水 2,334万m³

水循環率
約95%



当社の生産システムは、鉄スクラップを主体に **原料の90%がリサイクル品** です。

鉄を余すことなく活用し、鉄源のクローズドループ化を実現します。

多様な鉄スクラップを新たな製品へ蘇らせる電気炉プロセスは、いわば鉄の資源循環を担うリサイクルプロセスなのです



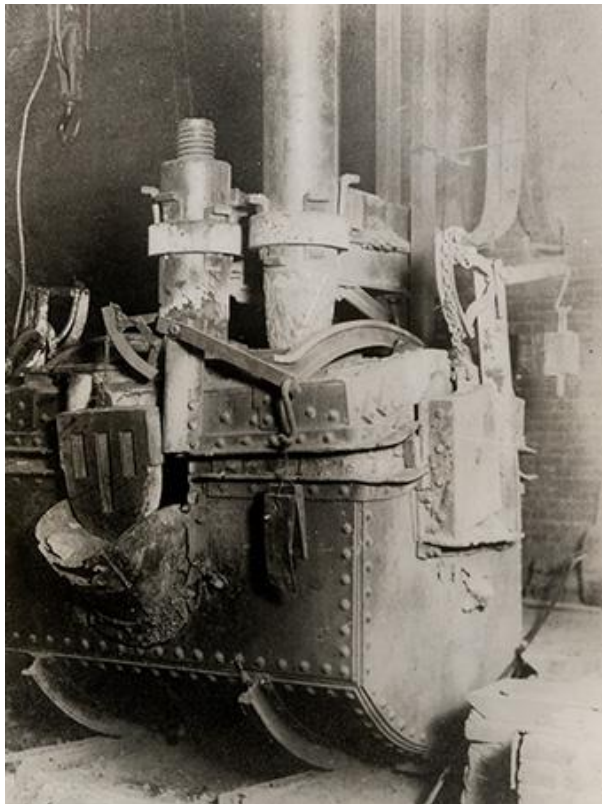
2030年における“ありたい姿”

社会変化が激しく予測が困難な時代にありながら、
持続的な利益成長を可能にするための取り組みを続けるための指針

“ありたい姿”：経営理念を実現している姿

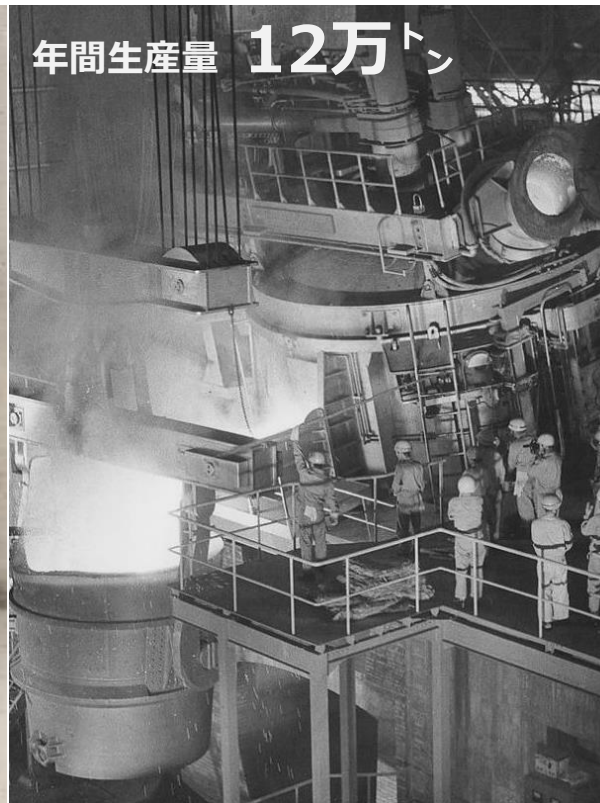
『高機能素材の価値を極め、顧客ベネフィットを創造し、
サステナブル社会の実現に貢献する』

1916年



1.5ト、電氣アーク炉
(株) 電氣製鋼所 熱田工場

1962年



80ト、電氣アーク炉
大同特殊鋼 知多工場

2014年



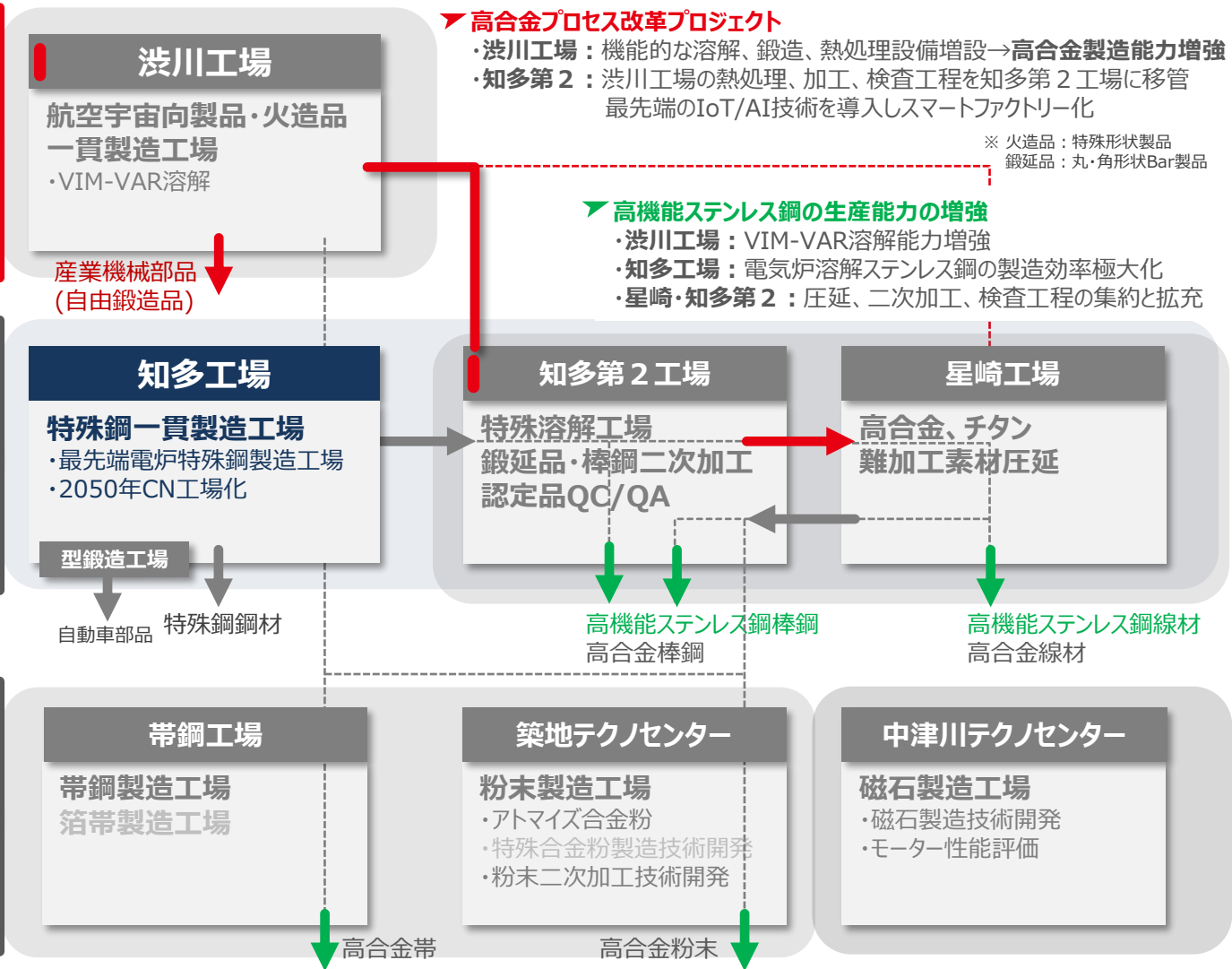
150ト、電氣アーク炉
大同特殊鋼 知多工場

特殊鋼の最適生産アロケーションを追求する

高合金
製造プロセス改革

知多工場を起点とした
高機能特殊鋼
製造プロセス改革

次世代製品
製造プロセスの高度化



高度化する
基幹産業



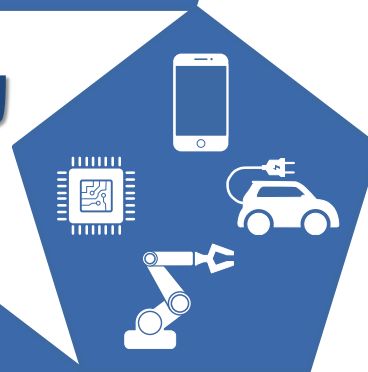
航空・宇宙
次世代モビリティ



先進医療

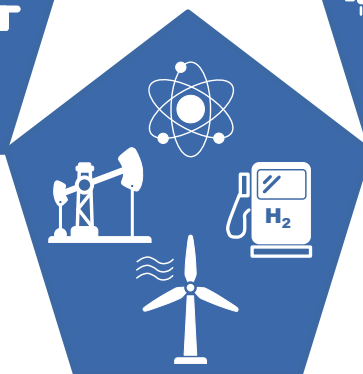


開発力



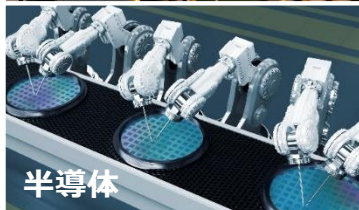
エレクトロニクス
半導体製造
CASE

クリーンエネルギー



成長市場製品の開発を加速する

開発力/共創力



成長市場製品
売上高比率

25%
(2030年度)

15%
(2026年度)

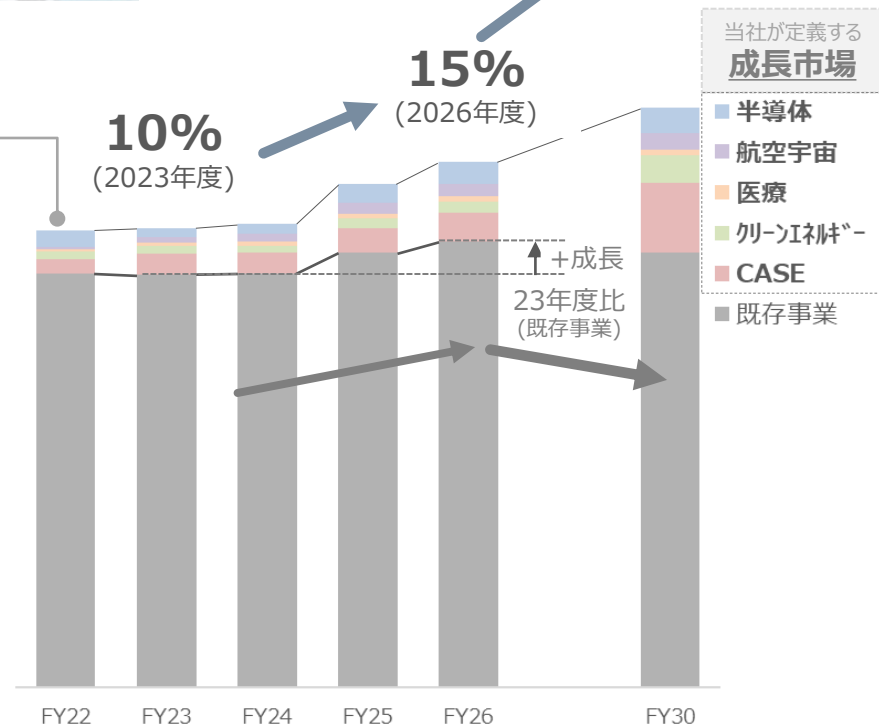
10%
(2023年度)

連結売上高
(全体)

↑ +成長
23年度比
(既存事業)

当社が定義する
成長市場

- 半導体
- 航空宇宙
- 医療
- クリーンエネルギー
- CASE
- 既存事業



成長市場製品の例 (クリーンエネルギー産業)



発電タービンディスク
DSALOY718



原子力発電用部品
316ULC



スチームバルブボディ
SUH616、9%Cr Steel



ブレード用素材
Super 12Cr

事業ポートフォリオを変革する

市場成長に連動した事業規模の拡大

市場成長率^高

持続的な成長の実現

エンジニアリング

- ・環境設備開発力強化
- ・レトロフィット事業を拡充

自動車・産業機械部品

- ・航空・宇宙産業との共創関係深化
- ・認定取得を拡大

機能・磁性材料

- ・成長市場製品のラインナップ拡充
- ・半導体製造装置向け素材のシェア拡大

特殊鋼鋼材

- ・自動車産業との共創関係深化
- ・工場損益分岐点の引下

【規模拡大事業】

- ・自由鍛造品

自動車部品
産業機械部品

【先進事業】

- ・ネオジム磁石
- ・LiB負極材
- ・軟磁性材料
- ・高合金帯・粉末
- ・チタン合金

機能材料
磁性材料

エンジニアリング

【規模拡大事業】

- ・環境設備（工業炉など）

【高収益事業】

- ・半導体製造装置用ステンレス鋼

ROS^高

【ベースロード事業】

- ・特殊鋼鋼材
- ・工具鋼鋼材

特殊鋼鋼材

セグメント

外円：売上高
内円：営業利益

安定した営業キャッシュフローの創出

圧倒的な市場プレゼンスの獲得

持続的な利益成長を実現する

26中期経営計画の「基本方針」

23中期以降、2030年までの10年間を「事業変革の10年」と位置付ける

23中期経営の 継承と進化

- ✓ 23中期はコロナ禍後の経済環境に対応して利益拡大 → 26中計は23中計の基本方針を維持
- ✓ 自動車用特殊鋼鋼材の需要漸減を覚悟 事業ポートフォリオを10年かけて大きく変える
- ✓ As is/To be で“ありたい姿”を追求 VUCAの時代、断続的な変化に対応しながら変革遂行
- ✓ 国内の経済ファンダメンタルズが長期的継続的に悪化する局面で、利益成長を実現する施策を優先

2050年の“未来像”

新しい社会基盤に必要不可欠な
高機能素材を供給し続けている

非連続的な未来像から
意思を持って“ありたい姿”を描く

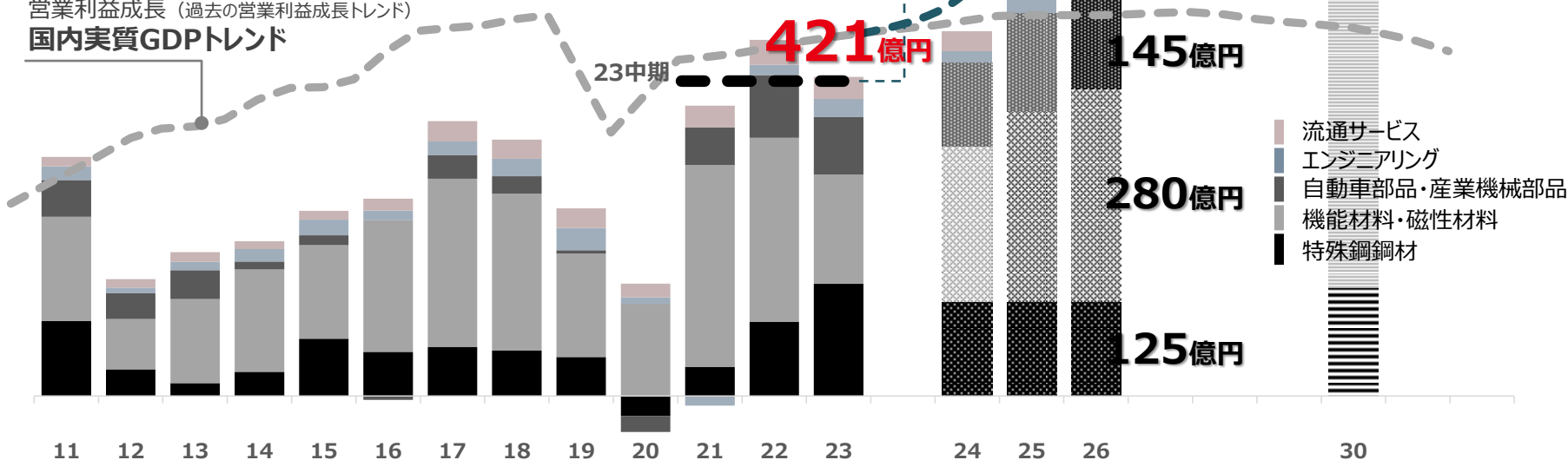
2030年の“ありたい姿”

高機能素材の価値を極め、
顧客ベネフィットを創造する
企業になる

2026年の“めざす姿”

事業ポートフォリオの変革を遂行し、
新たなビジネス・ドメインで持続的
な利益成長を実現する

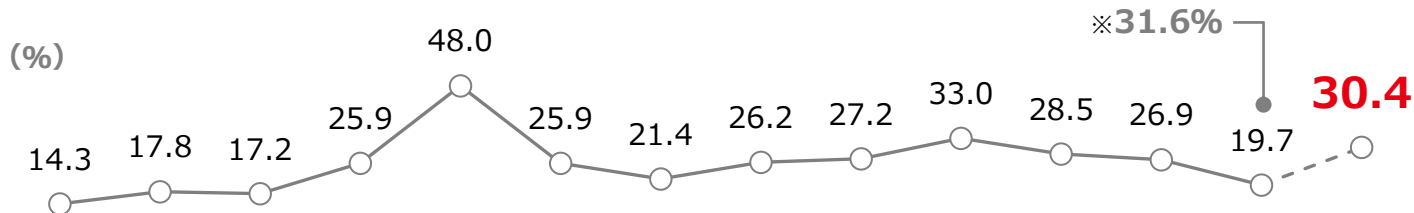
国内の経済ファンダメンタルズに左右された
営業利益成長（過去の営業利益成長トレンド）
国内実質GDPトレンド



配当金実績の推移

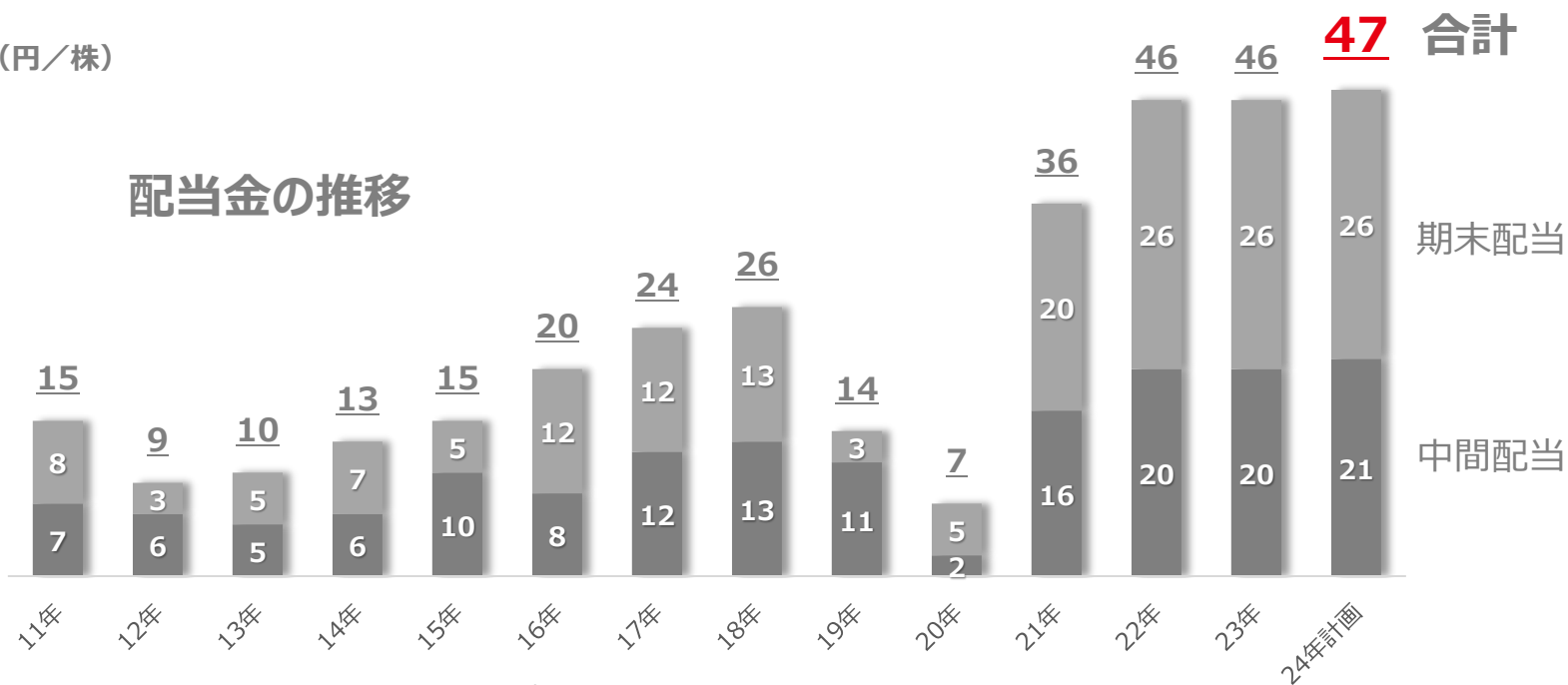
※一過性影響を除く配当性向：
有価証券・固定資産売却益、関係会社清算損、固定資産減損損失を除外（税引後）した利益に対する配当性向

配当性向の推移



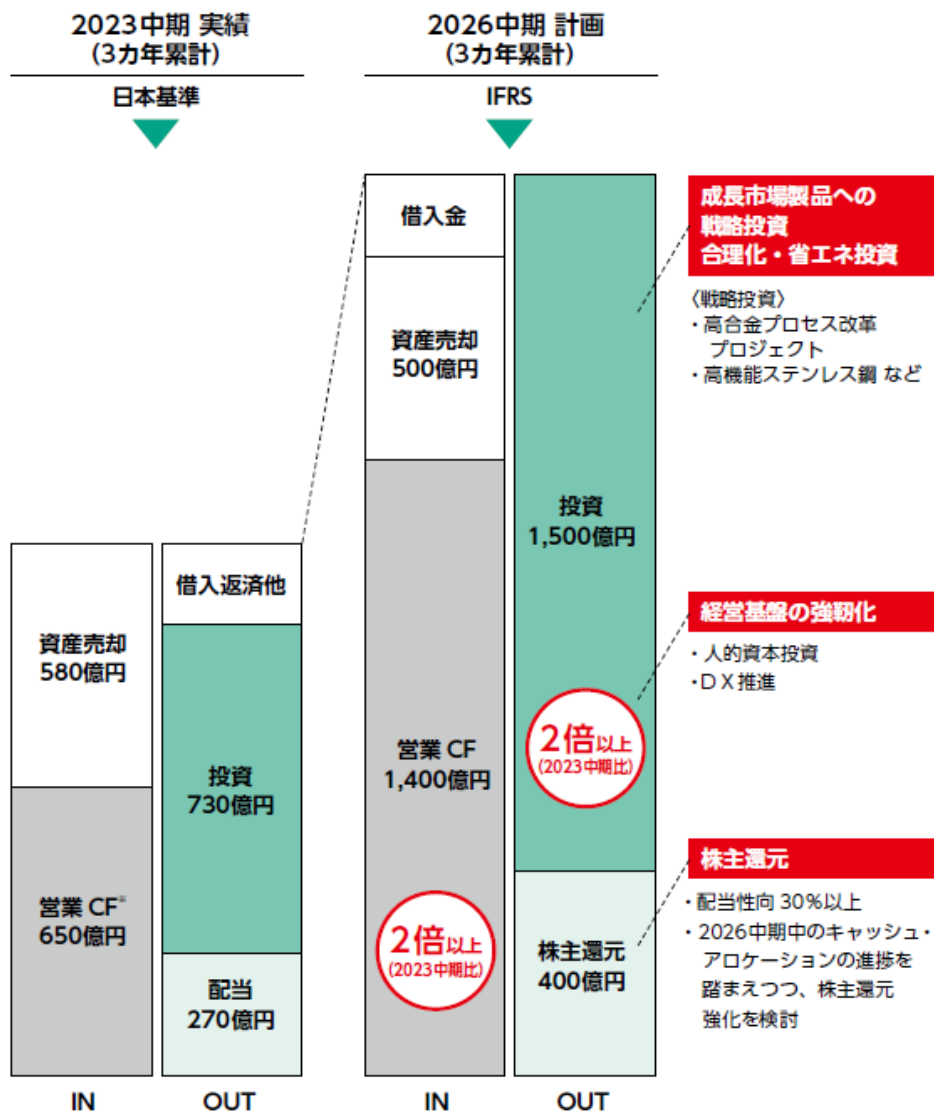
(円/株)

配当金の推移



2017年10月に株式併合、2024年1月に株式分割を実施しています。
それ以前は、現在の基準に補正して表示しています。

▼ キャッシュアロケーション



26中期経営計画においては、
23中計対比で2倍以上の営業CFを創出

**成長分野への投資を推進するとともに、
資産効率化・株主還元強化を進める**

※CF：キャッシュフロー

「財務健全性の維持」と「資本効率向上」の両立

基本方針

主要戦略KPI

積極的戦略投資の実現を可能にする
財務戦略の実行プロセス

財務戦略基本方針：

「財務健全性の維持」と「資本効率向上」の両立

- ・資金調達方法の多様化検討
- ・資産の流動化、保有資産の入替、有効活用
- ・運転資金増加抑制、CCC短縮
- ・C/N投資効率の評価
- ・利益創造と成長投資の循環をモニタリング
- ・ROE維持・向上のための株主還元強化

財務健全性の維持

自己資本比率
50~55%

D/Eレシオ
0.5目安

財務健全性の維持と
「資本効率向上」の両立

資本効率の向上

ROE
9%以上

- ▶ 事業P/Fの変革
 - ・成長市場製品の売上高拡大
 - ・先進事業となる新しい製品を持続的に生み出す研究開発
 - ・最適生産アロケーション

- ▶ 経営基盤の強靱化
 - ・人的資本の価値最大化
 - ・保有資産の入替、有効活用
 - ・生産プロセス改革
 - ・C/Fマネジメント

ROE
9%以上

×

- ▶ 情報開示の拡充
 - ・PR/IR/SR活動の拡大
 - ・開示情報量の拡充
 - ・ステークホルダーコミュニケーション

- ▶ ESG活動推進
 - ・ESG課題解決の価値を顕在化させ、企業価値向上（利益成長）に結びつける

PER
向上

+

- ▶ 安定的な株主還元
 - ・26中期中のキャッシュ・アロケーションの進捗を踏まえつつ、株主還元強化を検討

株主還元

配当性向30%以上

企業価値向上

安定的に
PBR 1倍以上
を維持

大同特殊鋼顧問 佐川真人氏 「欧州発明家賞」を受賞



当社顧問である佐川真人氏が、ネオジム磁石の発明者として、欧州特許庁（European Patent Office）が主催する『欧州発明家賞（European Inventor Award）』の非ヨーロッパ諸国部門を受賞しました。

授賞式が、7月9日（現地時間）にマルタで行われました。

ネオジム磁石発明者 佐川 真人 プロフィール

Masato SAGAWA

生年月日：1943年（昭和18年）8月3日

出身地：徳島県

趣味：絵画鑑賞

大同特殊鋼グループ 経営理念

素材の可能性を追求し、
人と社会の未来を支え続けます

2030年の“ありたい姿”

高機能素材の価値を極め、顧客ベネフィットを創造し、
サステナブル社会の実現に貢献する

26中期経営計画

— トランジション・マネジメント —

社会経済・産業構造の変化を事業好機とし、事業ポートフォリオの変革を遂行し、
新たなビジネス・ドメイン（顧客×提供価値×手段）で持続的な利益成長を実現する